



平和について考えた6月



緑風

緑風学園教育目標

やさしくたくましく

英知を磨く緑風の子



6月23日の慰霊の日を前に、平和学習を行いました。その取り組みを紹介します。

【6月20日(木) 4校時 平和学習 全児童生徒 講師：棚原艶子さん・比嘉チエさん】

本校教諭 奥田千鶴先生の祖母にあたる棚原艶子さん(94歳)とそのご友人の比嘉チエさん(94歳)のお二人を講師に招き、戦争当時の様子や経験談を語っていただきました。司会の千鶴先生のインタビューに答える形式で、当時15歳だったお二人が伊江島の飛行場建設のために伊江島に連れていかれ、そこで辛い労働をさせられていたことや、7人乗りのサバニに14人が乗り込み、命がけて海を渡って本島に帰ってきたこと等を話してくださいました。子ども達も真剣にお二人の話聞き、質問をしたり、感想を発表したりしていました。



(6/25(火) 沖縄タイムスに掲載)



(4年生の感想より)

今日の平和学習で、今の中学生ぐらいの人たちが伊江島につれていかれて、ひこうじょうを休まず作らされて、車をはした時にできる穴にたまった水を、虫が入っていてもそれをよけて葉ですくって飲んでいたという話を聞きました。これからも、つらくて苦しい戦争はくりかえさないように、平和な沖縄を保ちたいと思いました。

【6月21日(金) 6年生 沖縄「平和の礎」名前を読み上げる集いへの参加(オンライン)】

沖縄県では、沖縄戦の犠牲者を悼む6月23日「慰霊の日」を前に、市民有志により「平和の礎」に刻まれた約24万人の名前を読み上げる活動に取り組んでいます。

本校も、総合学習で「沖縄戦と平和」について学んでいる6年生が、学習の一環として一昨年参加しています。沖縄戦で亡くなられた久志地域の方々500人の名前を「二度と戦争はしない」という誓いを込めて、お一人お一人の名前を読み上げました。



【6月26日(水) 6年生 地域の平和巡り】

久志地域内で今の暮らしにも残る戦時中・戦後の様子をフィールドワークと地域の方のお話を通して体感し、自身の平和や他者の平和について考えることをねらいに、6年生が地域の平和巡りを行いました。

当日は、名護博物館の山城さん、稲福さん、城田さんをはじめ地域コーディネーターの坪松さんに案内をしていただき、瀬嵩の散兵壕、二見の東喜橋・収容所、二見情話の碑、嘉陽の聖火宿泊記念碑を巡り、児童一人一人が「自分ごととして真剣に考える」平和学習になりました。それぞれの場所で調整や説明をしてくださった地域の方々(西平さん・比嘉さん・豊田さん)に感謝申し上げます。ありがとうございました。



散兵壕



東喜橋



二見情話の碑



聖火宿泊記念碑

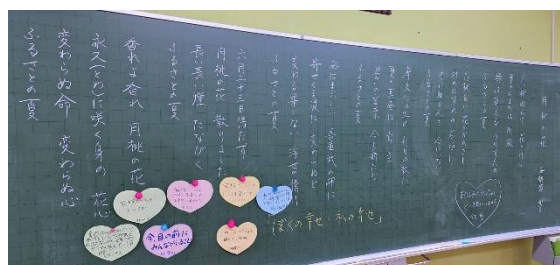
【6月18日(火) 4年生 沖縄タイムス「慰霊の日特別号」を活用した調べ学習】



4年生は、新聞を活用して、沖縄戦について調べ「自分が考える平和とは」について新聞にまとめました。



【5年生 今ある自分の幸せについて】



5年生は「月桃」の歌の歌詞の意味を考え、今ある自分の幸せについて伝える学習をしました。